



もっと自然観察 もっと自然しらべ

はっけん
発展

自然しらべをやってみて、いかがでしたか？
あなたのまわりの身近な自然の中に出ていくきっかけになったで
しょうか？このマニュアルは、全国どこでもできるように作られて
いますが、自然の姿は場所によってずいぶん違うと思います。
このマニュアルをもとにして、あなたの土地の自然がもっとよく
わかるような自然しらべを考えてみてはいかがでしょう？それ
は、調査項目を探すというおおげさなものではなく、自然観察の
テーマ探しなのです。

自然かんさつのポイント

遠くからみる

自然しらべでも必ず最初に土地の自然全体を見わたすような項目が入っています。
ひとつの花をしゃがみ込んでみるというのも大切ですが、そればかりだとその
自然全体の姿がみえてきません。高いところからみたり、時には動物の目の高さ
からみてはいかがでしょう。



じっくりみる

毎日の通勤・通学でも、まわりの景色は目に入っ
ているはず。では、そこにどんな自然がある？
どんな変化があった？と聞かれたらどうでしょう。
みているつもりでもみていないのではないで
しょうか？じっくりとみてみませんか？じっくり
みるために、スケッチをしてみるのも良いで
しょう。

つながりでみる

ひとつの生き物をじっくり見ることは大切なこと
です。そうしているとその生き物と他の生き物
とのつながりもみえてきます。自然しらべでは
それに加えて、生き物とまわりの環境あるいは
土地の自然とのつながりや、人と土地の自然と
のつながり・かわりに目をむけています。ぜひ、
自然を「つながり」としてみてください。

Event Report

2001年自然しらべから「みんなのひとこと」

- 毎年春3月～4月沢山のニホンアカガエルが近くの雑木林や茶畑から産卵のため、雨の夕方、大森調節池に集まってくる。途中道路を横断しなければならず、れき死が多量発生してしまう。みんなで救出作戦を実行している。埼玉県/小見寺公一さん
- 2月の下旬頃から、花のつぼみをふくらませ始める沈丁花の花を毎日、小学校に通いながら見守っていました。そして、この花の香りが漂い始めたら、卒業式一別れの季節だなあ、としみじみ感じたものでした。神奈川県/萩原有美さん

自然かんさつのポイント

五感で感じる

「みる」といっても目で見るだけではありません。味をみるといいますが、耳で、
鼻で、肌で、そして舌で自然をみてください。毒のあるものには、注意が必要です。



一緒にみて話し合ってみる

ひとりで自然観察をすることも楽しいですが、家族や友達、仲間と一緒に自然観察をすると、
もっと楽しいものになります。自分の気づかなかったことや感じなかったことなど、新しい発見が
あるはず。それが自然観察「会」です。

時間の流れでみる

同じ場所も季節が変わるとようすが違います。同じ木でも花がさく時期、葉が茂る時期、葉が
落ちる時期があります。それとともにその木にかかわる生き物も違ってきますし、人のかか
わり方も違ってきます。川のように雨などがたくさん降ったり、雪がとける時期によっ
てようすが違います。また年々によっても違いま
す。どんな変化があるでしょう。

違う場所を見比べてみる

同じ身近な自然でも、場所が変わるとようすが
違います。となりの町のようにはどうだろう。
この川の上流はどうなっているだろう。また、
夏休みにいった山奥の自然とはどこがどの
ように違うのだろう。比べてみると、もっと
あなたの身近な自然のことがみえてきます。

地図にしてみる

しらべた、観察した自然のようすや、人と自然のかかわりは、ノートなどに記録して
おくと良いでしょう。その時に地図にしてみませんか。土地の自然のようすが
とても良くわかってきます。



右は、1999年の「里やまの自然しらべ」
の時に、香川県の請川紋香さんに送っ
ていただいた地図です。



Report

- 身近な自然の中にも、「あっ！」と驚く生き物たち（植物も含めて）がたくさん潜んでいて、まるで宝探しをしているようです。この身近なワクワク宝探し中毒、一生直りそうもありません。埼玉県/大野佐和子さん
- 自然の風景はあまりに身近なので、その大切さや美しさ、そして人の心に与えてくれるありがたさを見過ぎてしまっている人が多いと思います。写真やエッセイを見て初めて、これは残しておきたいと共感してくれると思います。神奈川県/石井哲男さん